

稲作経営学科



米どころ山形を担う次代の地域リーダーを育成するため、規模拡大の手法や、安全・安心で高品質・良食味な米の低コスト生産技術と経営管理について学習します。さらに、大豆など土地利用型作物の生産から流通までの専門知識を学習します。



- 1 水稻の生育調査と生育診断に基づく生育調節による高品質・良食味米生産について学びます。
- 2 大規模稲作経営に向けて、直播栽培やICTを活用した省力・低コスト技術とGAPの取組みによる効率的な経営管理について学びます。
- 3 環境に配慮した栽培技術を習得するため、有機栽培・特別栽培に関する技術について学びます。
- 4 加工用米などの栽培を通して、多様な米づくり技術について学びます。
- 5 大豆等、畑作物の安定多収生産技術とともに、経営の複合化について学びます。



稲作経営学科1学年
鈴木 星名(山形市出身)

稲作のことを実習などでしっかり学ぶことができます。寮ではたくさんの仲間たちと、とても楽しく過ごしています。



果樹経営学科1学年
塩野 悠斗(上山市出身)

実習では、果樹の管理作業について手順やその作業をする理由などを先輩たちが優しく、丁寧に教えてくれます。寮生活もとても楽しいです。

- 1 高品質な果実の安定生産技術に加え、熟練農家の栽培技術、多品目栽培に対応した軽労・省力化技術、「加温さくらんぼ」などの施設栽培技術について学びます。
- 2 市場視察研修や販売実習等を通して、市場流通の仕組みや販売管理について学びます。
- 3 GAPの取組みを通して、生産工程管理による環境にやさしい安全・安心な果樹生産について学びます。
- 4 園芸農業研究所などの研究機関と連携し、施設・研究成果を活用しながら、先進技術や新品種について学びます。



全国屈指の「果樹王国やまがた」を担う次代のリーダーを育成するため、さくらんぼ、西洋なし、ぶどう等、県主要果樹の高品質安定生産技術とともに、果樹の生産から販売、経営管理に関する専門知識を学習します。

果樹経営学科

